

学校だより 12月号



寺尾小だより



<学校教育目標>「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」

<12月の生活目標>「みんなのために進んで仕事をしよう」

川越市寺尾979-2 TEL 049-245-9555 FAX 049-240-1765

川越市立寺尾小学校
令和3年11月30日(火)

コンプレックスを成長の糧に～クリスマスソングから～

校長 長澤 誠

校庭の桜の木も葉を落とし、いよいよ本格的な冬へと季節がバトンタッチしているようです。

先日の校内音楽会では、どの学年も素晴らしい演奏を披露していました。保護者の皆様には、撮影した動画を見ていただきました。また、保護者会には、多くの方にご来校いただいております。12月3日(金)には校内持久走大会が予定されています。4日(土)には、授業の様子を動画にて公開する予定です。引き続き、感染状況をみながら、屋内公開の方策を検討してまいります。あらためて、感染拡大防止の観点からご協力をお願いいたします。

さて、今月は、**コンプレックス=苦手意識、劣等感**についての話題です。街にはクリスマスムードが漂い、ツリーへの電飾も施されてきました。クリスマスソングの「赤鼻のトナカイ」という歌を知っている人は多いと思います。そのトナカイさんの名前は「ルドルフ」といいます。『鼻が赤いことにコンプレックスを持っていた「ルドルフ」がサンタクロースさんの一言で意味や価値を得て、コンプレックスが大変価値あるものに変容し、「ルドルフ」は自信をもった。』これが、おおまかなストーリーです。この話を作ったのは、シカゴに住む会社員のお父さんです。重い病気を患って寝込んでいるお母さんのことを、4歳の娘さんが子供心に尋ねます。「どうして、他のお母さんと違うの?」と。訊かれたお父さんが、娘さんを安心させるために即興で作ったお話とされています。



実は、“**コンプレックス**”は誰もが持っているものです。私自身も幾つか持っており、人を羨んだり無い物ねだりをしたりする自分がいます。そんな自分に嫌気がさすこともあるのですが、一方で、そのような心や気持ちは、自らを成長させるために必要なものであるとも感じます。コンプレックスを克服するために自らに努力を課したり、欠点を補うように長所を伸ばしたりすることを考えると、ある意味で**コンプレックスは成長への大きなエネルギー**とも言えるのではないのでしょうか。つまり、コンプレックスをマイナスのイメージで捉えるのではなく、成長のために欠かせないものと捉え、プラス思考で過ごすことが大切だと考えます。

実は、“**コンプレックス**”は誰もが持っているものです。私自身も幾つか持っており、人を羨んだり無い物ねだりをしたりする自分がいます。そんな自分に嫌気がさすこともあるのですが、一方で、そのような心や気持ちは、自らを成長させるために必要なものであるとも感じます。コンプレックスを克服するために自らに努力を課したり、欠点を補うように長所を伸ばしたりすることを考えると、ある意味で**コンプレックスは成長への大きなエネルギー**とも言えるのではないのでしょうか。つまり、コンプレックスをマイナスのイメージで捉えるのではなく、成長のために欠かせないものと捉え、プラス思考で過ごすことが大切だと考えます。

今年も、学校内外での様々な活動を通して、成功体験と共に充実感や達成感を数多く感じたことでしょう。逆に、苦手意識や劣等感(コンプレックス)を感じたこともあったかと思います。自分自身のコンプレックスと向き合い、成長のエネルギーに換えていく…。そんな取組がまとめの時期に行えると良いと思います。

さて、明日から12月です。今年も元旦に「一年の計」を立て、目標をもって過ごしてきた方も多いことでしょう。ご家庭でもこの一年間のまとめのことや、取り組んでいたことの成果などが話題になってくるのではないのでしょうか。今年一年を振り返り、「来年はこんなことを頑張ろう」とあらたな目標を設定する準備期間としていただけたら嬉しいです。